時事新報

驛遞局認可
（定價三錢）
明治十八年六月十七日
（西暦一千八百八十五年）
水曜日
第九百九十七號
日曜日休刊

賞勲敍任

○明治十八年五月三十日　外務權大書記官正六位　齋藤修一郎
布哇國皇帝陛下ヨリ贈與シタルナイト、グランド、オフイシヤル、クロウン、オフ、ハワイ勳章ヲ受領シ及ヒ佩用スルヲ允許候事

○明治十八年六月十五日　農商務權少書記官正七位　波多野尹政
任宮内權少書記官兼農商務權少書記官

任内竪　子爵櫛笥隆督
全　風早藤若丸

時事新報
東京圖書館

不景氣救濟策

今ノ日本ノ不景氣ハ人爲ノ不景氣ナリ不景氣ノ原因ハ必ズシモコレヲ一二ノ事柄ニ限ルベカラズト雖ドモ其最上第一ニ位スルモノハ不換紙幣ノ濫行ナリ不換紙幣濫行シテ物價騰貴シ全國ノ農工商業皆先ヅ繁昌ノ現象ヲ呈シタル後紙幣忽チニ減少シテ物價非常ニ下落シ全國遂ニ今日ノ不景氣ヲ見ルニ至リタリ一タビ紙幣ヲ發行シテ又一タビ紙幣ヲ回收ス是レニテ功罪相償ヒ元トノ天地ニ復スベキ道理ナリト信スル者アリト雖ドモコレ求メ差引勘定ヲ知ラザル者ノ論ナリ佛說ニ曰ク此世ニテ惡事ヲ爲シタル者ハ死シテ地獄ニ往キ慈悲ノ行ヒアリシ者ハ極樂ニ往クト今假リニ紙幣濫行ヲ譬ヘテ惡事トセンカ一タビコレヲ濫行シテ地獄行ノ罪ヲ作リタル後大ニ悔悟シテ濫行ノ紙幣ヲ回收シタリトモコハ唯惡事ヲ爲スヿヲ止メタリト申ス迄ニシテ別段尋常ノ人事ニ優リタル慈悲ノ行ヒヲ爲シタルニハアラズ一方ニハ罪ヲ作リ置キ一方ニハ尋常ノ行ヒヲ爲セバ差引勘定シテ唯惡事ノミ殘レル譯合ナリ若シ此罪ヲモ消滅セシメントナラバ必ズヤ別ニ一ツノ慈悲ヲ爲サヾルベカラザルナリ果シテ此理屈ニ相違ナシトセバ紙幣濫行ノ過ヲ悔ヒテ此紙幣ヲ回收シタル丈ケニテハ唯跡ニ不景氣ノミヲ殘シタル譯ニテ未ダ功罪相償フニ足ラズ夫レモ自然經濟法ノ運行ニ依賴シテ時ニ及ビテ今ノ不景氣ヲ救ヒ得ルモノナレバ必ズシモ一ヿヲ立テ、一罪ヲ償フニ及ハザルベシト雖ドモ我輩ノ論スル如ク今ノ不景氣ハ逆モ自然經濟法ノ運行ヲ恃ミテ其回復ヲ期スベキモノニアラズ必ズヤ特ニ人爲ノ救濟法ヲ施シ金ト勞トヲ費シテ然ル後ニ始メテ好景氣ノ舊天地ニ復スベキノミ

扨人爲ノ救濟法トテ別ニ不可思議奇策ノアルベキニアラズ矢張リ衆人ノ考ヘ合ハスル通リ一方ニハ儉約ノ退守策ヲ用ヒ又一方ニハ勉强ノ進取策ヲ施スノ外ニ工風ナカルベキナリ今日本ノ租稅ハ一箇年一億圓餘ト決シテ少額ト云フ可ラザルナリ識者皆其幾分ヲ減セントスルノ論アルハ甚ダ當レリ然レドモ少シク眼界ヲ廣クシテ今ノ世界ノ形勢ヲ察スル時ハ日本ノ國用ハ今日以後モ益多端ナルベキ傾向アルノミニシテ決シテ減少スベキ見込アルナシ是レ退守策ノ前ニ橫ハル第一ノ故障ナリ論者或ハ曰ク今ノ日本ノ政費中最モ不要ノ性質ヲ帶ルモノハ教育費ト衛生費トナリ衣食足リテ禮讓ヲ知ルベシ何ゾ今日ノ不景氣ニ際シテ教育衛生ヲ云爲スルノ遑アランヤト然レドモ我輩ヲ以テ今ノ教育衛生ヲ見ルニ決シテ過分ナリ滿足ナリト考ルヿ能ハズ尙ホ追々前ニ進マザルベカラズトコソ思ヘ幾ニ退キテ可ナリナド、ハ夢想ニモ思ハザルナリ現ニ全國ノ小學校ニ英語科ヲ加フベシトテ文部省ニ於テ英語教科書ノ編纂ニ着手シタルナド云フガ如キハ教育費增加ノ傾向アルモノニアラズヤ又飢饉年ハ惡疫流行ノ年タル前例多シ今ノ不景氣ノ爲メ全國ニ惡衣惡食ノ民多キハ或ハ衛生費ノ增加ヲ豫期シ置クベキ時節ニアラズヤ好シヤ英語モ惡疫モ願ミルニ遑アラズ大ニ教育衛生費ヲ減少スベシトシテ其教育衛生費ハ何程アリヤト問フニ教育費ハ文部省ノ定額幷ニ地方稅區町村費等一切ヲ合シテ凡ソ八百五十萬圓衛生費ハ衛生局ノ定額幷ニ地方稅區町村費等一切ヲ合シテ百二三十萬圓二項ノ總計千萬圓ニ足ラザルモノナリ假リニ今教育衛生費ノ全額三分ノ一ヲ減シ得ルモノトスルモ其額僅カニ三百萬圓ニ過ギズ未ダ以テ大ニ望ヲ屬スルニ足ラザルナリ其他海陸軍費ナリ司法裁判費ナリ警察費ナリ監獄費ナリ土木費ナリ唯其費用ノ大ナルヲ見テ此等ノ政務ヲ廢スルノ工風ナキヲ如何セン唯愛ニ一ツノ問題ト申スハ今ノ日本ノ政務ヲ今ノ儘ノ分量ニ存シコレヲ盡スニ果シテ一箇年七千萬圓ノ費用ヲ要スルヤ否ヤ五千萬圓或ハ六千萬圓位ニテ今ノ政務ヲ維持スルヿハ六ヶ敷モノナルヤ否ヤト云フノ一事ナリ而シテ斯ル問題ハ其當局者ヲ除クノ外我々局外ノ人ニ在テハコレニ答ルヿ甚ダ難シ假令ヘコレニ答ルモ譬ヘバ猶ホ墻外ニ在テ屋内ノ事ヲ評スルノ類ニテ其肯綮ニ當ルヿ甚ダ覺束ナキナリ併シナガラ强ヒテ局外ノ我々ニ答ヲ促カス者アラバ我輩ハ先ヅ何樣ニカ政務ヲ減セズシテ政費ノミヲ減シ得ルノ工風アルナラント答ヘンノミ例ヘバ當節柄勤儉ノ主意ヲ實行シテ從來官吏ノ執務時限普通朝九時ヨリ晝後三時マデ暑中八時ヨリ十二時マデナド云フヲ改メテ春夏秋冬朝七時ヨリ夕六時マデト爲シ暑中三十日ノ賜暇ヲ廢シ土曜日ノ半休ヲ廢シ年始年末祭日等ノ休暇ヲ廢シ物價ノ下落ニ準シテ俸給ノ幾割ヲ減ズル等ノ手段ヲ施サバ今ノ十萬ノ官吏ヲ沙汰シテ五萬ト爲シ千五百萬圓ノ俸給ヲ節シテ七百萬圓ト爲スヿモ强チ天ニ階スルヤウノ難事ニテハアラザルベシ論ヨリ證據ハ今ノ各新聞社員ガ一年三百六十五日日曜日ヲ除クノ外寒暑一日ノ休暇ヲモ取ラズ近來民間不景氣ノ爲メ國民ト運命ヲ共ニシテ最モ薄利ノ產業ヲ營ミ居ルヲ見テモ大体ノ有樣ヲ知ルニ足ラン此外同シ一路ノ鐵道ヲ敷キ同シ一艘ノ軍艦ヲ造ルニモ主務ノ人物如何ニ由リテハ其結果ヲ同シクシテ其費用ヲ異ニシ大ニ入費ヲ省クノ工風アルベキハ勿論ナルガ故ニ果シテ今ヨリ斯ル工風ノ數々ヲ實行シ了ランニハ全國ノ政費ニ一年千萬乃至二千萬ノ節減ヲ見ントスルハ强チ達スヘカラザル希望ナリトモ云フベカラザルベシ歲出既ニ減スル時ハ歲入モ亦多キヲ要セズ適宜租稅ノ幾分ヲ減シテ國民ノ負擔ヲ輕クスル時ハ國民ハ幾分丈ケ其肩ヲ休ムルヿヲ得テ幾分丈ケノ生意ヲ復スルヲ得ベシ是即ナ所謂不景氣挽回ノ退守策ニシテ其効驗又決シテ少ナカラザルベシ

然レドモ我輩ハ此退守策ノミニ依賴シテ永キ年月ノ間ニ漸ク好景氣ノ回リ來ルヲ待ツヿ能ハズ依テ一方ニハ儉約ノ退守策ヲ實行スル傍ニ又他ノ一方ニハ勉强ノ進取策ヲ實行シ進取退守兩策並ヒ用ヒテ一擧シテ今ノ不景氣ヲ驅除シ盡サントスルナリ其進取策ニ關スル鄙見ノ如キハ次號ノ紙上ニ陳述スベシ

○正誤　一昨日本欄内第二段ノ第十七行ニ總計千六百六十萬トアルハ千一百六十萬ノ誤リ

雜報

○大藏卿代理　山縣參議ハ一昨十五日大藏卿不在中大藏卿兼任仰付られたり

○陸軍免補　步兵中佐大島義昌氏外兩名は去月廿六日砲兵少佐中村雄次郎氏ハ去る十日孰も左の通仰付けられたり

免本職　步兵第五聯隊長步兵中佐　大島義昌
仙臺鎭臺參謀長心得被仰付候事　全　大嶋義昌
免本職　步兵第五聯隊第一大隊長步兵少佐　山中信儀
補步兵第十七聯隊第一大隊長　全
免本職　步兵第十七聯隊第一大隊長步兵少佐　今橋知勝
補步兵第一聯隊第三大隊長　全
兼補士官學校砲兵學教官　陸軍大學校教授砲兵少佐　中村雄次郎

○海軍免補　海軍中佐濱武愼氏外兩名は去る十三日左の通仰付けられたり

主船局出勤被差免候事　海軍中佐　濱武愼
補主船局艤裝課長　全　濱武愼
免本職　鳳翔艦機關長海軍大機關士　箕村保道
機關本部出勤被仰付候事　全　箕村保道
調度局出勤被差免候事　全　黑原和友
補鳳翔艦機關長　全　黑原和友

○月俸　一昨日内竪に任せられたる櫛笥隆督、風早藤若丸の兩氏は同日月俸二十圓下賜る旨仰渡されたり

○電信線路巡視　工部權少技長志田林三郎氏は去る十三日工部省に於て北海道電信線路巡視として出張仰付られたり

○英國電信事業の擴張　英國驛遞總官ショーリフェーヴル氏は先頃電信料改正案（從來二十語を一音信と爲し一音信の代二十五錢なりしを改め十二語と一音信とし其代を十二錢と定め之を最小額とて其上ハ二語每に二錢宛と增その法なり）を議院に提出し同會に於て之を可決しゝるに付彌此新法を實施することゝなりし電報と依賴するものは必ず大に增加すべしとの見込にて驛遞省に於ては目下頻りに之に應ずべき準備を爲し既に二千英里餘程の電線を增架し更に一千二百名の電信技手と一千人の配達人とを雇入るゝならんと五月十八日倫敦發の報に見ゆ

○蘇西運河會議（スイスカナル）　佛京巴里に於て開會せる蘇西運河委員會へ英國政府より提出せし方案八箇條ハ去月廿六日の本紙上に記載したるが今五月十八日巴里發の報を見るに「日耳曼が此方案に反對するは佛國よりも一層甚しく若し蘇西運河會議の歷史を書きたらばビスマーク公とグラッドストーン氏の永たらしき喧嘩の歷史となるべし左れば英國の委員等ハ目下爭論中の要部を占むる蘇西運河と各國の管理に歸せんとするの議が假令へ各國の間に相談纏まるとも日耳曼は更に又新規の爭點を作るなるべし故に此會議が全く終を告ぐる迄には今より二箇月を過ぐるならんと云ひ居るよし」とあり

○傳話機　鐵道局にてハ先頃橫濱鐵道局の兩停車場間へ傳話機を架設せしが汽車振動の爲め傳話を妨けられ一時見合せあり居しが今度改良を加へて更に使用することになりたり

○豫算金　工事に着手中なる麹町區霞ヶ關の舊教導團營所の改築並新築の豫算金額は二萬千二百餘圓にして來る七月中近衛第三聯隊を移轉せしむるよし

○定額金增加　陸軍士官學校にては諸生徒の員數を增加し且つ教師を雇增せしに付定額金ハ本年度遣拂の分へ金四萬二千七百七十一圓餘又來る十八年度へ三萬千七百餘圓を增加の筈なりと

○賊魁リール　カナダの賊魁リールが縛に就きたるよしは先頃の紙上に掲載せしが尙ほ去月十八日オッタワ
發の報によれば同人は反賊の首謀者
且つ内實ハ合衆國に歸りたる志願あ
得ざりしとの事を申述べたるよし尙
到底絞罪に處せらるべしと覺悟し居
と祈禱とに委し居ると云ふ

○經濟親話會　費用節減に盡力くす
は今度經濟親話會なるものを開き
いへると創立たるよし

○牧場再設　相州足柄山は舊幕時代
も維新以來其業の廢り居しを今度改
有志者か發起にて之を再興し良馬を
力なし居るよし

○京都通信　伊藤宮内卿は去る八日
へ赴き各工場と巡視の後府立師範學
巡視され體育場に於て催せし巡査
上責昏頃に歸館したり」先に當府
去百餘名の吏員を沙汰せられ其際
人の判任官は去る八日一と先職を

○大坂通信　六月十三日大坂通信
軍銃回送　過般東京府より當大坂
造と依賴せし由の處此程五百挺丈
回送したり尙同殘り二百挺は兩三
よし
乘馬備付　大坂府にてハ監獄本支
へ置くとよあり近々各署へ馬廐れ
フランチル製造　大坂府下大和國
名の人々は綿フランネルを製造せん
社といふを起し此程其假開業式と
端艇　大坂府水上警察署にてハ是
以て河筋巡回の用に供し居たりしも
洋形端艇と用ゐるとよありたりと
共同運輸會社長　森岡昌純氏ハ明
の途に上る由なり
茶況　此程より新茶は左まで景氣
りし處去る七日の夜英船グラモー
が新茶積込の爲め神戸に入港せん
突し爲に新茶積出しの延期したる
び昨今一弗乃至一弗半の下落と來

裁判破棄　去る明治十五年八月廿
の兩換商集會所に於て神戸の兩換
と爲し居れりとの告訴となしたる
輕罪裁判所檢事の告發する所とな
に於て無罪の宣告をなしたりしを
とて上告したる由の處此程大審院
上更に大坂輕罪裁判所に移したれ
判と開く筈なりと聞けり

○秋田通信　六月十二日秋田通信
去月廿日より山形に於て東北九縣
月三十日に至り議事終り閉會せし
權少書記官も臨席したりと○當秋
中近ころ腸窒扶斯病に罹る者多く
付豫防の爲め川尻村假養所へ賊患
が目下罹患囚徒は八十餘名なりと
尻村川尻組よくハ今度大に監獄の
を盛んにする由よて其價とも大よ
金一圓二十錢、同（延べ）一圓五十錢

○四日市通信　六月十二日四日市
當地も相變らず不景氣の歡聲高き
云ふハ昨今伊勢美濃等の國々より
當港にて橫濱へ向け積送くる高を
とば當地方の小民ゟ茶摘ミ茶製り